

本の森 1月号

篠山市立中央図書館通信 No. 141 2017年 1月1日 発行

今月の特集



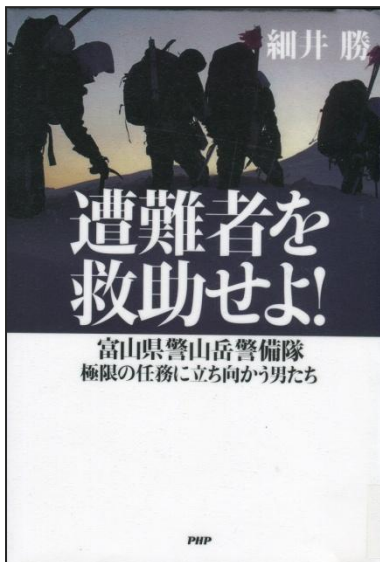
あけましておめでとうございます。1年の計として目標を定めた方も多いのでは。図書館では、新しいことへのチャレンジを情報提供という形でお手伝いします。今年も市民の皆さまの生活に密着した図書館を目指してまいります。

寒さでこもりがちなこの季節を逆手にとって冬を楽しんでみませんか。まずは情報収集から。1月の特集コーナーがお役に立ちます。

『遭難者を救助せよ！』

富山県警山岳警備隊 極限の任務に立ち向かう男たち

細井 勝 著 PHP出版 786ホ



毎年のように冬山遭難のニュースが報じられると、関係者でなくても心が痛いものです。どんな困難な状況にも果敢に命を救うことに徹しようとする人々の感動だけではない、厳しい事実を本著は伝えています。

決して気軽な気持ちで冬山に登る人はいないのでしょ、天候の急変や、雪庇^{せっぴ}という魔の積雪を踏んでしまっは元も子もありません。警備隊員の一人一人が世界屈指のアルピニストやスキーヤーなどのプロ集団でありながら一糸乱れぬ統率を誇るの、任務に至るまでの決死の訓練に耐えてきたからなのでしょう。雪山だけでなく、富山県警のみならず、人命に関わる任務に就く全ての人に感謝せずにはられません。

救助に向かう人も同じ命の危険にさらされる事実を認識し、マナーを守り、ウィンタースポーツを楽しみたいものです。

(小土井)

小説の棚から



『静かな雨』

宮下 奈都 著 文藝春秋 Fミヤ



クリスマスに失業した僕は、たいやき屋を見つけました。「おいしい。なにこれ、おいしいじゃないか、ものすごく。」でも、ガラスの向こうの女の子に咄嗟に言えたのは「これ、おいしい。」だけでした。それが、僕とこよみさんの出会い。静かに恋が始まります。

ある朝、こよみさんは交通事故に遭い、目覚めた時には高次脳機能障害との診断で、短期間しか新しい記憶を留めることができなくなっていました。二人は一緒に暮らし始め、こよみさんはたいやきを焼き続けます。ある時、姉との会話で「おとこのこってなんでできてる？」というマザーグースの童謡の話題から、僕は「人間ってなんでできてる？」と姉に尋ねます。姉は、生まれてから今までと祖先の記憶だと言いました。では、記憶を失ったこよみさんはどう生きていけばいいのだろう。僕は、毎日の生活の中での思いだと、答えるのですが。

著者のデビュー作が単行本となりました。あたたかい世界の中に、愛情と平静な心、充足感が広がり、短い小説ですが、心の片隅に残っていく内容です。また読み返したくなる、宮下ワールドの原点ともいえる作品です。
(細見)



『昭和というたからもの』

谷内 六郎 絵・岩崎 俊一文
講談社 726.5

一般書の棚から

『週刊新潮』創刊号からの表紙絵（昭和31年～56年）を覚えていませんか？「昭和」という時代に、四季折々の家族の暮らしを描き続けた谷内六郎たにうちろくろう氏の絵です。そのひとコマ、ひとコマに岩崎俊一いわさきしゅんいち氏がキャッチコピーをつけるという広告シリーズが2005年“電車ドア横”で始まりました。

本書は約4年間の広告ポスターをまとめた作品集です。谷内氏の絵に、広告を通して人の幸せを見つめてきた岩崎氏のコピーが添えられ、二人のことば（エッセイ）がたっぷり詰まった大人の絵本でもあります。

とても懐かしくてあたたかく、どこか寂しく。何が便利で、何が幸せなのか、あの頃にあって、今はないものは何か。私たちが失ったものはなんだったのだろう・・・と、ふるき良き昭和へ誘い“平成”を省みる時間を与えてくれる一冊です。

2014年12月、本書の原点ともなる『谷内六郎の絵と岩崎俊一のコピーで綴る昭和展』が都内の百貨店で開催されました。心待ちにしていた展覧会を自分の目で確かめることなく、開催を一週間後に控えた同月20日永眠された岩崎氏、67歳でした。
(酒井)



谷内六郎：日本の画家
(1921-1981 59歳没)
岩崎俊一：コピーライター
(1947-2014 67歳没)

イベント

作家 高村 薫 氏 講演会

日 時 : 平成29年2月18日(土)
午後1時30分～午後3時

会 場 : 篠山市立中央図書館
視聴覚ホール

定 員 : 先着80名(参加無料)



申込方法 : 専用の「参加申込書」にご記入の上、
中央図書館へご持参またはFAXください。
市民センター図書コーナーや各配本所等にも
配布しています。
託児についても同様に事前申込みが必要です。

広場

2017年が始まりました。

今年も人と本・知識・情報を結びつける知的空間を創造し、人と人をつなぐ交流の場としての役割も意識しながら、みなさまに親しまれる図書館をめざします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

中央図書館 職員一同

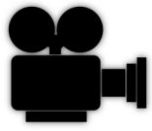
HIROBA

■篠山市民センター図書コーナー(篠山市黒岡 191) TEL 079-552-0394

開館時間 10:00～18:00(日曜日は 17:00 まで)

※職員は 12:00～15:00(土日は 13:00～15:00)の間、駐在





映画上映会のお知らせ



「秘密の花園」
 1993年・アメリカ 102分・吹替
 ■監督 アニエスカ ホランド
 ■出演 ケイト メイバリー 他
 ■日時 1月13日(金) 14:00~15:40
 1月14日(土) 15:00~16:40
 ■場所 中央図書館 視聴覚ホール

入場無料
申し込み不要



図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1 休館日	2 休館日	3 休館日	4 休館日	5 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー) 景観写真展(地域計画課)1/5~1/18	6	7
8	9 図書コーナー 休館日	10 休館日	11	12 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	13 映画上映会	14 映画上映会
15	16 休館日	17	18	19 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	20	21
22	23 休館日	24	25	26 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	27	28
29	30 休館日	31 休館日	写真展示(写友ささやま)1/20~1/29 			